

道東臨床検査技師会 学術業績賞の表彰

臨床検査科で発表した原著論文「L G L (large granular lymphocytes)の直径」が、日本検査血液学会 学術賞 (2019年8月9日のブログ紹介) に続いて、道東臨床検査技師会 学術業績賞を受賞致しました。

2020年は、新型コロナウイルスの影響により道東臨床検査技師会定期総会も通常開催とはならず、表彰式も延期となっておりましたが、8月7日、当院へ道東臨床検査技師会 会長・事務局長が訪問され表彰式が執り行われました。(写真)



当院 白潟院長と

共同著者の押味先生と

<受賞コメント>

この論文で、再び学術業績賞を受賞できたことは臨床検査科にとって大変喜ばしく、論文を通して得られた知見を日々の検査業務に活かし精進したいという思いを、前回の受賞に引き続きより一層強く致しました。

新型コロナウイルスの影響により、当院での表彰の場を設けて下さいました道東臨床検査技師会役員の皆様のご配慮にも深謝いたします。

学術業績賞、誠にありがとうございました。